

1. 国語

科目	国語総合①（読む・聞く部分）	単位数	2	区分	必履修	
教科書・教材	東京書籍『新編国語総合』			配当年次	1年次	
授業のねらい・概要						
*現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 *文章の内容について理解する方法を学ぶ。 *現代文は漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。						
授業の進め方						
(1)本文の読み、本文の漢字・語句の書き取りのプリント学習 (2)その文章の大事な部分を問いとし、考える。 (3)語句調べ、古文・漢文は本文の解釈、書き下し文を書く (4)まとめの問題を解く						
		学 習 の 内 容			考 査	時 数
前期	4月	1	随想1	「ルリボシカミキリの青」	①	12
	5月	2	小説1	「とんかつ」		
	6月	3	言語活動	「スピーチする」	②	16
	7月	4	評論1	「未来をつくる想像力」		
	8月	5	随想2	「りんごのほっぺ」	③	11
	9月	6	随想3	「待つということ」		
後期	10月	7	古文（随筆）	「徒然草（雪のおもしろう降りたりし朝）」 「枕草子（うつくしきもの）」	④	19
	11月	8	評論2	「鍋洗いの日々」		
	12月	9	詩	「空をかついで」「二十億光年の孤独」「冬が来た」	⑤	20
	1月					
	2月					
3月	10	随想4	「海流ミクロネシア」			
評価の方法						
授業への参加（発言・応答）・定期考査の点数・課題プリント・ノートの内容を総合的に判断し成績を評価する。						
備 考						
1・2年次で分割履修。						

科目	国語総合①（表現部分）	単位数	1	区分	必履修		
教科書・教材	東京書籍『新編国語総合』			配当年次	1年次		
授業のねらい・概要							
*「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 *身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。							
授業の進め方							
副教材を用いて表現技法について理解。作文を書き、発表をし、各々の内容についてメモをとる。また、意見文の構成を学ぶ。手紙文・ビジネス文書などの知識と書く練習。漢字練習を繰り返しながら、語彙を広げる。							
		学 習 の 内 容			考 査	時 数	
		通年で漢字練習を行う。					
前期	4月	語彙を豊かにし、比較的短い作文やスピーチ、実用文を学ぶ。				①	6
	5月	1	作文を書く	発表			
	6月	2	漢字・語句について学ぶ。		②	8	
	7月	3	類義語・対義語について学ぶ				
	8月	慣用句・ことわざについて学ぶ				③	5
9月	4	手紙と電話					
後期	10月	5	敬語について学ぶ		④	10	
	11月	6	文章の要約の仕方を学ぶ				
	12月	発展段階として、やや長く資料を駆使した文章の作成を学習する。				⑤	10
	1月	7	新聞記事を読み、それについて意見文を書く				
	2月		意見文の発表をする				
3月							
評価の方法							
授業への取り組み（態度）・定期テストの点数・課題プリントの内容を総合的に判断し成績を評価する。							
備 考							
最終的に「国語総合」(3単位)として「国語総合」(2単位)「国語表現①」(1単位)を合わせて評価する。							

科 目	国語総合 ② (読む・聞く部分)	単位数	2	区 分	必履修
教科書・教材	東京書籍『新編国語総合』			配当年次	2年次
授業のねらい・概要					
*現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 *文章の内容について理解する方法を学ぶ *現代文は、漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。					
授業の進め方					
(1) 漢字の読み、書き取りのプリント学習 (2) 文章を正しく音読できるようになる (3) 語句調べ、古文・漢文は本文の解釈 (4) まとめの問題を解く					
学 習 の 内 容				考 査	時 数
前期	4月	1	小説1 「ドライ・クリーニング」	①	12
	5月	2	評論1 「手技に学ぶ」		
	6月	3	漢字・語句について学ぶ。	②	16
	7月	4	随想2 「里山物語」		
	8月 9月	5	漢文 故事「借虎威」、史話「魏武捉刀」ほか	③	11
後期	10月	6	小説2 「羅生門」	④	19
	11月	7	古文入門 「児のそら寝」		
	12月 1月	8	古文物語 伊勢物語「芥川」	⑤	20
	2月	9	小説3 「沖縄の手記から」		
	3月				
評価の方法					
授業への参加(発言・応答)・定期考査の点数・課題プリント・ノートの内容を総合的に判断し成績を評価する。					
備 考					
通年1単位。最終的に「国語総合」(3単位)として「国語総合②」(2単位)「国語表現②」(1単位)を合わせて評価する。					

科 目	国語表現 ①	単位数	1	区 分	選択
教科書・教材	教育出版『国語表現 改訂版』	配当年次	2年次(残りの2単位は4年次に分割履修)		
授業のねらい・概要					
*「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 *身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。					
授業の進め方					
教科書本文を読み、表現技法について理解。メモの取り方、新聞記事でまとめの訓練。作文を書き発表、意見文の構成を学ぶ。手紙文・ビジネス文書などの知識と書く練習。					
学 習 の 内 容				考 査	時 数
前期	4月		○表記・敬語表現・語のかかり受け・主述の対応など正しい文を書く基礎を学ぶ。	①	6
	5月	1	文章の推敲の仕方(誤った文の訂正、表記、語句、語のかかり受け、敬語表現、句読点など)		
	6月		○聴くこと、メモすること、書かれた文章の構成について学ぶ。	②	8
	7月				
	8月	2	ニュースをメモする(メモの取り方)	③	5
9月	3	新聞記事の構成に学ぶ。5W1H			
後期	10月		○手紙と電子メール、依頼・報告文	④	10
	11月	4	手紙の形式、依頼・報告文の様式と書く手順		
	12月		○意見文の書き方	⑤	10
	1月	5	意見文の発想のしかたと書く手順		
	2月 3月	6	文章の構成と推敲		
評価の方法					
授業への参加(発言・応答)・定期考査の点数・課題プリント・ノートの内容を総合的に判断し成績を評価する。					
備 考					
2・4年次で分割履修。					

科 目	国語表現 ②	単位数	2	区 分	選択	
教科書・教材	京都書房『国語表現』			配当年次	4年次	
授業のねらい・概要						
*さまざまな教材を通して、「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力がつくことを目標とする。 *他人とのコミュニケーション手段について具体的に学ぶ。						
授業の進め方						
教科書本文の黙読。音読の発表をする。単元の課題について、具体的に文章を整える。書く・読むの練習をする。						
		学 習 の 内 容			考 査	時 数
前期	4月	・上手な話し方・聞き方の学習。			①	12
	5月	(3分間スピーチおよび電話の対応)				
	6月	〃			②	16
	7月	・手紙の書き方および宣伝文について考え、具体的に書く。				
	8月	〃				
9月	〃			③	11	
後期	10月	・記録文や報告文について考え、具体的に書いてみる。			④	19
	11月	(身近な問題や課題を設定し、それについて具体的に書く。)				
	12月	・卒業課題として、読書感想文を書く。			⑤	20
	1月	(本の選定、読書、読書感想文の書き方について学び、感想文を書い				
	2月	て提出する。)				
3月						
評価の方法						
授業への参加(発言・応答)・定期考査の点数・課題プリント・ノートの内容を総合的に判断し成績を評価する。						
備 考						

科 目	現代文B ①	単位数	2	区 分	選択	
教科書・教材	東京書籍『新編現代文B』			配当年次	3年次	
授業のねらい・概要						
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。						
授業の進め方						
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。						
		学 習 の 内 容			考 査	時 数
前期	4月	随想「さくらさくらさくら」(読み、漢字・語句の学習、読解)			①	12
	5月	小説「みどりのゆび」				
	6月	小説「サイン」			②	16
	7月	評論「「ふしぎ」ということ」(読解)				
	8月	〃				
9月	短歌「信濃路」(語句の解釈・作者紹介・現代語訳・作品鑑賞)			③	11	
後期	10月	評論「安心について」(読み・漢字と語句の意味、読解)			④	19
	11月	詩「一つのメルヘン」他三編(朗読、語釈と作品鑑賞)				
	12月	評論「最初のペンギン」(読み、漢字・語句の意味調べ)			⑤	20
	1月	〃 (「からだの情景」読解)				
	2月	小説「なまけものコンプレックス」(「なまけものコンプレックス」				
3月	読解)					
評価の方法						
授業への取り組み・定期考査の点数・出席点・課題プリントおよびノートの内容を総合的に判断して成績評価する。						
備 考						
3・4年次で分割履修。						

科 目	現代文B ②	単位数	2	区 分	選択		
教科書・教材	東京書籍『新編現代文B』			配当年次	4年次		
授業のねらい・概要							
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。							
授業の進め方							
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。							
		学 習 の 内 容			考 査	時 数	
前期	4月	1	I部	随想二	「カフェの开店準備」	①	12
	5月	2	I部	小説二	「こころ」「カンガルー日和」		
	6月	現代文のしるべ①、②			②	16	
	7月	3	I部	随想二			「物語の外から」
後期	8月	4	II部	詩歌	「竹」「永訣の朝」「一日の長さ」「春雷」	③	11
	9月						
	10月	5	I部	小説二	「山椒魚」	④	19
	11月						
	12月	6	II部	小説一	「山月記」	⑤	20
1月							
2月							
3月							
評価の方法							
定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリント・ノートの内容を総合的に判断して成績評価する。							
備 考							
3・4年次で分割履修。							

科 目	ベーシック国語	単位数	1	区 分	選択	
教科書・教材	自作教材等			配当年次	3年次	
授業のねらい・概要						
漢字検定5級程度の漢字学習から始め、最終的に漢字検定3級から2級の受験ができるような力を養う。						
*1日10分で1年間の継続授業なので、単調にならないよう教材・学習方法に変化を持たせる。						
*実際の指導は担任なので、生徒が学習しやすいように、解答や解説をを付けるなどの配慮をする。						
*時間内で完結するよう、教材を工夫・精選する。						
*前期・後期で国語科が評価のまとめを行う。						
*達成状況をみながら、前期は基本的な内容、後期は発展的な内容とする。						
		学 習 の 内 容			考 査	時 数
前期	4月	漢字を読む力、書く力（漢字検定5級程度）				28
	5月					
	6月	漢字を読む力、書く力（漢字検定4級程度）				28
7月						
後期	8月	漢字検定3級程度 読み・書き・同音・同訓異義語・対義・類義語・誤字訂正・部首・熟語の訂正			③	27
	9月					
後期	10月	漢字検定準2級程度 読み・書き・同音・同訓異義語・対義・類義語・誤字訂正・部首・熟語の構成				41
	11月					
	12月	漢字検定2級程度 読み・書き・同音・同訓異義語・対義・類義語・誤字訂正・部首・熟語の構成			⑤	41
	1月					
2月						
3月						
評価の方法						
毎時の課題の内容及び提出状況・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績を評価。						